

第56回 香芝市地域公共交通活性化協議会

日時：令和6年7月31日（水）

午前9時30分より

場所：香芝市役所2階

大会議室

1. 開会

会長：お忙しい中、ご出席いただき感謝申し上げます。また、香芝市の地域公共交通行政にご理解・支援いただいていることに重ねて感謝申し上げます。2024年問題を契機にドライバー不足が深刻になっている。香芝市で運行するコミュニティバス、デマンド交通においても、乗務員の確保が厳しくなる中、事業者の方々には多大なご協力をいただいていることに感謝申し上げます。本日は、議題に示すとおり、コミュニティバス及び香芝市デマンド交通の運行に関する議論を行っていただく。忌憚のない意見を願います。

（委員紹介）

（協議会成立の報告（委員24名中、出席18名））

2. 議題

（1）香芝市コミュニティバス及び香芝市デマンド交通の運行について

事務局：（資料1について説明）

会長：意見があれば、願います。

委員：コミュニティバスと香芝市デマンド交通の運行に対する年間の委託料と、利用者1人あたりの市の補填額をお教えいただきたい。また、次回以降、新たに委託契約を結ぶにあたり、運賃の検討見込みについて、お教えいただきたい。

事務局：委託金額とそれに伴う利用者1人あたりの補填額については、後日回答する。また、運賃については協議会で諮っていただくこととするが、事務局の提案としては現行のとおりである。

委員：議論をしていくという趣旨で良いか。

事務局：データ採取結果を踏まえて、議論の有無も含めて、検討していきたい。

委員：承知した。

会長：他に意見がないようであれば、本件は承認されたものとしたい。

委員各位：異議なし

会長：それでは、議題は承認されたものとする。

3. 報告事項

(1) 【令和6年6月速報値】コミュニティバスの利用状況

事務局：(資料2について説明)

会長：意見があれば、願います。

委員：データを取ることは有効である。目的は見直しを検討することであるが、それだけでなく、このような情報を利用者に伝えていくことも大事である。タイミングを見極めつつ、アラートを出していくことも大事である。無くなるという認識を持ってもらう取組み、広報についてのお考えをお教えいただきたい。

事務局：広報については、見直し基準を紙ベースで周知した際、今後の情報発信についてHP上で行うことを伝えており、既に6月分は公開している。バス停については、3か月以上、基準を満たさないバス停が出てきた場合は、バス停に張り紙を行う等を考えていきたい。

委員：コミュニティバスは市民に乗ってもらう必要がある。夏休みの間、塾通いやイベント利用など、子供だけでも利用できる広報活動をしていくことで、高齢者だけでなく、市民全員の乗り物であることを訴えていく必要がある。広報の仕方についても、幅広い視点で考えていただきたい。

事務局：香芝市の取組みとタイアップして取り組んでいきたい。

委員：子供の利用を増やす取組みは、すばらしいアイデアだと思う。既存運賃の50円等であれば、香芝市の収益に大きな影響をしないと捉え、無償化等を考えてはいかがか。

事務局：改めて検討し、必要に応じて、この場で協議させていただきたい。

4. 閉会